

「環境変動に伴う海洋生物大発生予測・制御技術の開発」

クラゲ類の大発生予測・制御技術の開発 - 研究実施課題一覧 -

研究推進リーダー： 上真一

国立大学法人広島大学 理事・副学長 大学院生物圏科学研究科 教授

課題番号	課題名	担当研究室 担当研究者	
1. ミズクラゲの発生機構の解明			
B101	瀬戸内海、中等でのミズクラゲ発生機構の解明	国立大学法人 広島大学	大学院生物圏科学研究科 上真一
B102	東京湾でのミズクラゲ発生機構の解明	国立大学法人 東京海洋大学	海洋科学部 海洋生物資源学科 石井晴人
B103	伊勢・三河湾でのミズクラゲ発生機構の解明	(独)水産総合 研究センター	中央水産研究所 豊川雅哉
B104	伊勢湾のミズクラゲ発生機構の解明: 逆及的調査と魚類競合者との相互関係を通じて	愛知県	水産試験場 漁業生産研究所 海洋資源グループ 山田智
B105	宇和海、瀬戸内海のミズクラゲ発生・集積機構の解明	国立大学法人 愛媛大学 【研究協力】 公立大学法人 福井県立大学	沿岸環境科学研究センター 武岡英隆 生物資源学部 海洋生物資源学科 兼田淳史
B106	ミズクラゲの発生機構と食物連鎖構造: 特に微小動物プランクトンの役割	(独)水産総合 研究センター	東北水産研究所 海区水産業研究部 神山孝史

2. ミズクラゲの発生予測・制御技術の開発			
B201	ミズクラゲポリプの物理・化学的制御	国立大学法人 東京海洋大学 【研究協力】 (財)電力中央 研究所	海洋科学部 海洋生物資源学科 石井晴人 環境科学研究所 生物環境領域 野方靖行 物理環境領域 仲敷憲和 物理環境領域 坪野考樹 環境ソリューションセンター 坂口勇
B202	ミズクラゲポリプの微生物学的制御	国立大学法人 東京大学	海洋研究所 海洋生態系動態部門 微生物分野 浜崎恒二

2. ミズクラゲの発生予測・制御技術の開発（続き）

B203	ミズクラゲの天敵による生物学的制御	国立大学法人 広島大学	大学院生物圏科学研究科 上真一
B204	魚類との競合関係によるミズクラゲの制御	国立大学法人 広島大学	大学院生物圏科学研究科 附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション 小路淳
B205	魚類との相互関係、モデリングに基づく予測技術開発	(独)水産総合 研究センター	瀬戸内海区水産研究所 生産環境部 銭谷弘、河野悌昌、巨真吾
B206	クラゲカッター現場応用によるミズクラゲ発生制御	大分県	農林水産研究センター 水産試験場 浅海研究室 福田祐一
B207	環境要因をベースにしたモデリングに基づくミズクラゲ発生予測	(独)水産総合 研究センター	中央水産研究所 海洋生産部 清水学、広田祐一、小松幸生

3. 大型クラゲの発生予測・制御

B301	大型クラゲの日本海沿岸への定着可能性の予測と生態特性解明に基づく発生制御	(独)水産総合 研究センター 福井県 【研究協力】 学校法人 東海大学	日本海区水産研究所 日本海海洋環境部 井口直樹 水産試験場 海洋資源部 岩谷芳自 海洋学部水産学科 松浦弘行
B302	魚類との相互関係に基づく大型クラゲの発生制御	国立大学法人 京都大学	フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所 益田玲爾
B303	繁殖生態の解明に基づく大型クラゲ発生予測	国立大学法人 島根大学	生物資源科学部 附属生物資源教育研究センター 隠岐臨海実験所 大津浩三
B304	生理・生態的特性の解明に基づく大型クラゲの発生予測・制御	国立大学法人 広島大学	大学院生物圏科学研究科 上真一